

研究協力のお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

向精神薬の服用が患者の転倒・転落に与える影響と薬学的介入に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年4月1日～2024年3月31日の期間内に当院に入院し、転倒や転落をされた方

2. 研究目的・方法

【研究の目的・背景】

当院で毎月報告される医療安全管理委員会からのインシデント・アクシデント報告の中で、最も事故件数の多いのが、患者の転倒・転落事例である。当院は精神科単科病院であり、中枢神経系に作用する薬を多く処方する機会が多く、転倒・転落の発生時には患者が服用する向精神薬が影響している可能性が高い。そこで、各年度に報告された転倒・転落事例を基に、その患者が服用していた処方薬を調査し、向精神薬の服用と転倒・転落との関連性を調査すると共に、事故再発防止のための薬学的介入方法について検討することを目的とする。

【方法】

各年度の医療安全管理委員会に報告された転倒・転落事例（事故報告書のまとめ）を委員会から提供していただき、電子カルテを用いて患者の基本情報（病棟、疾患名、年齢、性別、身長、体重、血圧、生化学データ、服用回数、服薬指導の有無、処方内容等）を入手する。その情報を多方面から解析し、転倒・転落を引き起こしやすい要因を調査する。

研究期間

昭和大学附属烏山病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2025年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

各年度の医療安全管理委員会に報告された転倒・転落事例（事故報告書のまとめ）を委員会から提供していただき、電子カルテを用いて患者の基本情報（病棟、疾患名、年齢、性別、身長、体重、血圧、生化学データ、服用回数、服薬指導の有無、処方内容等）を入手する。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：烏山病院（薬学部病院薬剤学講座） 氏名：黒沢 雅広

住所：157-8577 東京都世田谷区北烏山 6-11-11 電話番号：03-3300-5231

研究責任者：上記